

「いろ葉」流の介護

信念と実践の輪を日本中に

岩本進・北海道新聞記者

中迎聡子様、森田洋之様

お話、ありがとうございました。今まで気づかなかった世界を知るととともに、介護について深く考える機会になりました。

中迎さんは、本当に好きで楽しんで仕事をしておられることが伝わってきました。「こんなにクリエイティブな仕事はない」という言葉が印象に残っています。病院からお年寄りを「いろ葉」に連れ帰る行動力にも驚きました。

介護とは、役所や法律で決められたサービスを提供することだけではない。一人一人のお年寄りが幸せな人生を送ることが最終目標で、そのためにどうしたらいいか徹底的に考え、最期まで少しでもお手伝いをすることが「いろ葉」流の介護だと理解しました。

その活動に、森田洋之さんが医師という立場で加わり、しっかりと支えている。絶妙な連携だと思いました。

土井道子さんのように「いろ葉」と出会えた人たちは幸せだと思います。多くの方が将来介護が必要となった時に「いろ葉」流の介護が受けられたらいいな、ときっと思うことでしょう。中迎さんや森田さんたちが大切にしている信念と実践の輪が、日本中に広がったらいいですね。

お二人の著書を連休中に読んでみます。ドキュメンタリー映画の完成も楽しみにしております。このたびのご縁に感謝いたします。本当にありがとうございました。